

作物の食害痕跡から加害鳥獣を判別する 鳥獣害痕跡図鑑

野生鳥獣による農作物被害は、約 161 億円（令和 2 年度）と依然として高い水準にあり、その対策が急務となっています。対策の第一歩は加害鳥獣種を判別して、その種に合わせた対策をとることです。獣による被害か鳥による被害か、それだけでも対策が大きく変わってきます。間違った対策をしているために被害が減らないこともよくあります。しかし、鳥獣が作物を加害している現場を確認することはなかなか難しいものです。一方、食害された作物を目にすることは多く、これらの痕跡から加害鳥獣を見分けることができれば、正しい対策を選択することが可能となります。そこで、鳥獣の食害痕跡から加害鳥獣を判別するための情報を記載した鳥獣害痕跡図鑑を web で公開しました。

☆ 技術の概要

1. 野生及び飼育下において、鳥獣が食害した作物の痕跡写真を収集整理し、作物の食害痕跡から加害鳥獣を判別することができる図鑑を作成しました。この図鑑はウェブサイトで公開しており誰でも利用することが可能です（https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/sign/index_sign.html）。

現場でタブレットを用いて閲覧しながら食害痕跡を見るようなことも想定しています。

2. トップページから加害鳥獣と被害作物の関連が分かり、作物名をクリックすることで、作物別の食害痕跡図鑑の pdf を閲覧することができる構成となっています。
3. 例えば、とうもろこしのページには主な加害種としてカラス、タヌキ、ハクビシン、アライグマを取り上げ、それぞれの食害写真と解説を載せています。
4. リストには鳥類 8 種と獣類 3 種について、29 の作物の情報が掲載されており、情報及びリストは随時アップデートしていく予定です。

☆ 活用面での留意点

1. 本図鑑では収集できたもののみ掲載しているため、その作物に係る全ての加害種を掲載しているわけではありません。
2. 食害写真を含む情報など随時募集しています。詳細については、農研機構問い合わせフォーム（<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>）にお問い合わせください。



鳥獣害痕跡図鑑のトップページと QR コード、及びとうもろこしのページ。